

授業の導入でひな形学習カード配信

■校種・学年 : 小学校5 学年以上

■活用の概要 :

グループで協働学習を行うときの準備について、以下のフローが児童生徒に定着している。

一人一人が見通しをもって授業に取り組めるようになってきた。

- ① 授業の導入時にプレゼンテーションソフトで作成した学習カードのひな形を配信。
- ② 各班の代表者1名がひな形を保存し、班員に共有設定。
- ③ 自動的に班員に招待メールを送信。
- ④ メールを受信した班員はプレゼンテーションソフトを開き、共有されていることを確認。
- ⑤ 共同編集しながら話し合いを進める。

■準備するもの

・プレゼンテーションソフト (OS標準) →共有設定

プレゼンテーションソフトで作成した学習カードを配信



ファイルの共有設定



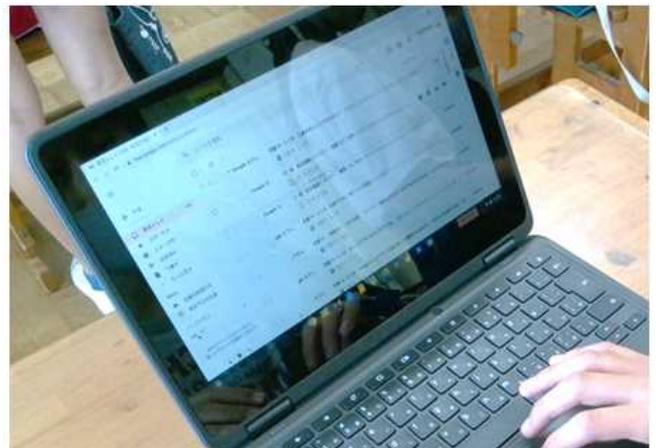
役割分担・共同作業でグループ活動のDX

本時の課題とともにプレゼンテーションソフトで作成した学習カードのひな形を配信。

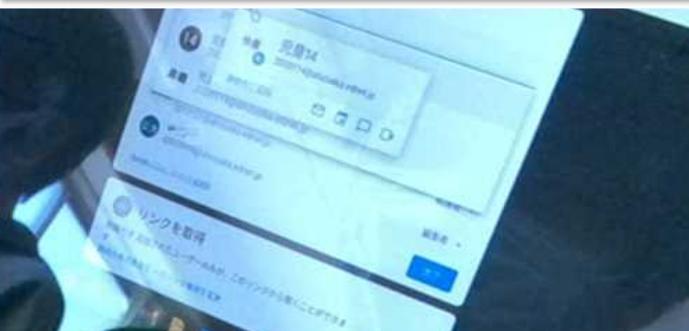
1008 課題「文明開化を学び、生活様式が大きく変わる現代社会について考えよう。」
10月8日
100点

①フラッシュ明治
②2枚の絵を見る。フォーム(文明開化)でわかったことを打ち出し、スプレッドシートで共有。(5分)
③「横浜に残る文明開化」を視聴する。(3分)
④PMIチャートにまとめる。(5分)
⑤個人タイム(3分)
⑥班タイム(7分)
⑦全体発表(5分)
⑧論争(1.4分) or あなたが下駄職人だったらどうする? など
⑨1008ふりかえり(3分)

横浜に残る文明開化 | NHK fo...
<https://www2.nhk.or.jp/school/m...>



メールに添付されたプレゼンテーションソフトを開くと、共同編集可能な設定になっている。



班の代表者がテンプレートを保存し、班員との共有設定を行うと、班員にメールが送信される。

■アドバイザーからのコメント

ワークシートとして活用するいくつかのテンプレートを用意しておき、児童生徒がそれをコピーして様々な場面で活用することを通して、ICTは学習を効率化する道具であることを理解していきます。

また、教師が一つ一つ作るのではなく、児童生徒が作ることで、学習にも教師の働き方にも効果的です。